

：チーム名： A 5 star

■30年後のビジョン

MADE IN まつさか!! ～世界を翔ける松阪のモノとヒト～

■30年後の松阪の姿

日本中で、世界中で、「MADE IN まつさか」というブランドが知られている。
松阪のモノが全国で知られている名産品へ。松阪のヒトが全国で活躍できる人財へ。
「MADE IN まつさ課」を中心に、松阪市の産業活性化とキャリア実践教育の推進を進めることで、
30年後の松阪市はどこの市にも負けない元気で活気のあるまちとなっているだろう!!

■重点政策① MADE IN まつさ課の創設!!

【対象者】 松阪全市民、及び松阪市外の方々

■政策の目的・概要

松阪市の産業活性化と人財育成を一体で進め、新たな松阪のブランド“MADE IN まつさか”を確立、
推進していく新たな課を創設する。これまで各課が担当していた産業振興・人財育成など業務の一部を
MADE IN まつさ課に移す。商工会議所等各業種を繋ぐ役割を果たす。
主な業務内容は、産業振興、人材育成、「MADE IN まつさか」ロゴマーク認定発信管理運営。

■政策の効果

MADE IN まつさ課創設→今までにない新たな地域ブランド中心の運営主体ができる
→効率よく業務を行うことができる→松阪ブランドの発展につながる

■重点政策② MADE IN まつさか ブランド&ロゴマークの認定・発信

【対象者】 松阪特産品、工芸品、松阪市民

■政策の目的・概要

「MADE IN 松阪ブランド認定制度」をつくり、松阪のモノ・ヒトのうち、
認定基準（※参考資料参照）を満たすものを MADE IN 松阪ブランドに認定する。
認定されたモノやヒトは、松阪ブランドのロゴマークを使用することができる。
MADE IN まつさ課が主体となり、この新たな地域ブランドを世界にPRしていく。



■政策の効果

- ・地域ブランド創設→松阪市外へブランドの発信→松阪の特産品周知率 UP→松阪の特産品消費需要 UP
- ・地域ブランド創設→松阪市外へブランドの発信→松阪の知名度 UP →観光客増加
- ・地域ブランド創設→地元の人々のモチベーション UP→品質の向上、

■重点政策③ ヒトを育てる名産品開発プロジェクト

【対象者】 松阪市に住む若者（中学生～大学生中心）、松阪市内の企業

■政策の目的・概要

小中高においてキャリア教育を今よりさらに推進。そして、そのキャリア教育の実践の場として、市内
の若者を中心に参加者を募り、松阪の特産品を用いた商品開発・販売促進の報告提案会を行う。市内の
農家や企業を審査員として招き、実現可能性がある案は実際に商品開発を行う。（※参考資料参照）

■政策の効果

- ・キャリア教育の実践→社会人基礎力の向上→松阪市出身の多くの人々が社会で活躍する
- ・商品開発、提案→商品化→新たな MADE IN まつさかブランドの商品が生まれる

■ビジョン策定の背景・理由

松阪市には現在多くの特産品があるが、それぞれの知名度は未だ低く、松阪の資源を活かしきれていない。また、中高生のキャリア教育が進められてはいるが、実践の場が足りていない。松阪市が今後もっと元気なまちに成長するためには、松阪のモノの発展は勿論のこと、松阪のヒトも成長していくことが必要不可欠である。

そこで、MADE IN まつさ課を創設し、松阪市の産業活性化と人財育成を一体で進め、新たな松阪のブランド“MADE IN まつさか”を確立、推進していく。松阪のかけがえのないモノとヒトを育て、世界中へ広めていくことで、30年後の松阪市が元気でいきいき暮らせるまちとなることを目指す。

政策総予算	▼主な内訳区分	▼内訳（単位：万円）
1000 万円	MADE IN まつさ課創設費（松阪市役所庁舎内）	0万円
	重点政策②③の予算	約900万円
	新事業費	約100万円

■積算の根拠

- ・課の新設は行政内部の活動なので、費用はかからない・・・0円
- ・MADE IN まつさ課の主要な新事業費
重点政策②（600万円）＋重点政策③（300万円）・・・1030万円
- ・新事業費は各課で行われている事業から MADE IN まつさ課が推進していくべき事業を仕分け新たに MADE IN まつさ課で行っている。

政策総予算	▼主な内訳区分	▼内訳（単位：万円）
600 万円	広告費	約480万円
	MADE IN まつさか推進協議会費	約10万円
	ロゴマーク関連グッズ作成配布費	約100万円

■積算の根拠

- ・広告費 ①SNS（Twitter・facebook）開設運営費、Youtube 放映費・・・0円
- ②ホームページ 初期投資（15万円）＋（ホームページ一年運営費12万円）・・・27万円
- ③冊子 作成費（約20万部）・・・400万円
- ④ブランド発信コマース作成→youtube（HP内リンク）で放映・・・50万円
- ・MADE IN まつさか認定協議会運営予算（有識者謝礼金）・・・10万円
- ・ロゴマーク関連グッズ作成配布費用・・・100万円

政策総予算	▼主な内訳区分	▼内訳（単位：万円）
300 万円	イベント実施費用、広告費	約100万円
	人件費、教材費	約215万円
	商品化費	約20万円

■積算の根拠

- ・イベント実施費用 ①施設利用費（600円×8H×24週）・・・12万円
- ②審査員費（5人×約3万）・・・15万円
- ③諸経費・・・10万円
- ・広告費 チラシ作製費（約10万部）・・・20万円
- ・人件費（若者につくアシスタントなど）（日給8000円×10人×24週）・・・約200万円
- ・教材作成費（3000円×50人分）・・・15万円
- ・商品化補助金・・・20万円